

高島地域センターだより

タカシマ★タカラジマ

2023年

8月号

8～9月の行事・イベントなど

8月5日(土)	UMIBOUZ IN 高島 ～ タカシマタカラジマ 2023 音光祭 ～
8月6日(日)	市民大清掃(全島清掃) (各自治会の実施方法に従ってください)
8月13日(日)	高島地区ふるさと夏祭り ※荒天時20日(日)へ順延
8月20日(日)	UMIBOUZ IN 高島
8月26日(土)	UMIBOUZ IN 高島
9月5日(火)	子どもを守るネットワークパトロール

高島地域センターだより No.71
発行日：令和5年8月1日(火)
編集：高島地域センター
〒851-1315
長崎市高島町1728番地1
電話／095-896-3110(代表)

高島地域センター管内の人口
(令和5年6月末現在)
■人口 282人(R4.6月末307人)
【男136人、女146人】
■世帯数 197世帯

高島診療所の診療体制について

7月18日(火)に高島診療所へ、常勤医師が着任しました。
今後は下記のとおり診療します。

時間	月～木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
8時30分～ 17時	常勤医師による診療		救急の場合は、当直 医師が診療します。	
17時～ 翌朝8時30分	救急の場合は、常勤 医師が診療します。	救急の場合は、当直 医師が診療します。		

※ 救急で受診したい場合は、事前に高島診療所(☎896-2048)まで、
ご連絡ください。

診療所の新しい先生をご紹介します。

高島診療所の常勤医師として、7月18日(火)より
西倉哲司先生が着任されました。

《西倉先生ご挨拶》

7月18日より高島診療所にお世話になっております、西倉哲司でございます。平成2年大阪大学を卒業、約20年は関西の救命センターで救急医をやっておりました。その後は、北海道、広島へのき地の診療所で、内科・外科・整形・小児科など何でも屋の医師をやり、災害があれば出勤しておりました。(トルコ・シリア大地震の時は、発災2日目に現地入り)。今回、ご縁があり高島に、単身で赴任いたしました。高島のみなさん、よろしくお願い申し上げます。



「高島地区ふるさと夏祭り」について

日時：8月13日（日）18時～21時 ※荒天時は8月20日（日）に延期
場所：高島海水浴場ウッドデッキ
内容：夜店、盆踊り、ビンゴゲーム大会、ミニ花火大会
主催：高島地区まちづくり推進協議会

精霊流しの流し場、こも置き場について

高島地区の流し場、こも置き場は、旧南消防署高島出張所横の土木倉庫です。
(昨年と同じ場所) 8月15日（火）19時までにお出してください。また、2m以上の精霊船を出す場合や、道路を使用して精霊船を作ったり、一時保管したりする場合は、お早めに大浦警察署へ道路使用許可願を提出してください。
問い合わせ先：廃棄物対策課（☎829-1195）

西海岸公園付近のがけ崩れについて（続報）

現在、西海岸公園付近で、がけ崩れが発生している県道高島線は、さらなる崩落の危険性が一時的に弱まったため、現在通行再開していますが、今後の雨量が24時間当たり連続120mm又は1時間当たり30mmを超えた場合、一部通行止め（約300m）といたします。
みなさまのご理解とご協力をお願いします。

飛島磯釣り公園の北側釣り場について

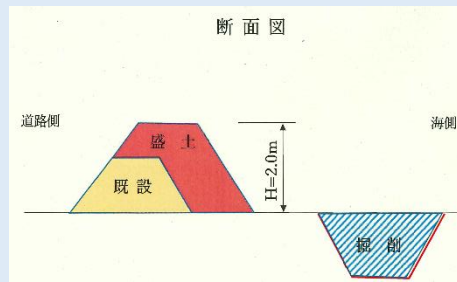
昨年9月6日の台風11号により被害を受け、使用ができなくなっていました飛島磯釣り公園北側釣り場は、修繕が完了し、令和5年7月15日（土）から使用可能になっていますので、お知らせいたします。

長崎市水産センター高島事業所について

長崎市水産センター高島事業所が、長崎大学（※ながさきBLUEエコノミー）のブリの種苗生産研究施設として生まれ変わります。
令和5年8月から、ブリの種苗生産施設としての準備が始まります。具体的な工事の内容スケジュールなどについては、改めてお知らせいたします。
※ながさきBLUEエコノミーとは？
長崎大学を中心とした、産学官金連携による長崎県の水産再生とそれによる地域活性化をめざす組織体です。
問い合わせ先：長崎市水産センター（☎830-1131）

西海岸公園の越波対策について

台風が接近し、満潮と重なった場合、西海岸公園の護岸を、波が、越波していますが、道路等へ流入しないよう、西海岸公園修繕（排水対策）として、既設の盛り土をかさ上げしました。



チーム高島Tシャツについて

2023 チーム高島Tシャツを販売します。

例年PTAが取りまとめしていましたが、今年度から申し込み方法など変更になっていますので、購入される方は、各人で下記の申込先までお申し込みください。

申込先：スーパー高島・えびすや・いやしの湯。

※設置の申し込み用紙でお申し込みください。（デザイン見本あり。）

なお、注文締切日は、8月10日（木）となっています。

問い合わせ先：高島ふれあい運動会実行委員会（担当）荻原（☎080-4135-5029）

「あなたの高島の思い出を冊子に残しませんか？」

「タカシマシリーズ」第4弾！

冊子「タカシマ・カタリベ続編」（仮称）の発行を計画しています。

そこにあなたの高島の忘れられない思い出を綴りませんか？

原稿用紙1枚～4枚程度、お話を伺い、こちらで文章にすることもできます。

まず、下記までご連絡ください。

問い合わせ先：令和高島未来塾

塾 長(飯島) 080-3903-8805

事務局(須田) 080-5207-1052

メール:reiwa.takashima.mirai.22@gmail.com

右のQRコードからも当塾へメールの送信ができます。

タカシマシリーズのご紹介

第1弾「タカシマ・スケッチブック」

第2弾「タカシマ・シマメグリ」

第3弾「タカシマ・カタリベ」

高島地域センターでご覧になれます。

（販売・配布はございません。）



地域おこし協力隊 ～6月の活動報告～



こんにちは、地域おこし協力隊の石川です。

6月1～3日、「やったろう de 高島」ほか関係企業との共同で、高島海水浴場内へ、新たにサンゴ育成装置を5基設置する作業に参加しました。

作業の準備として事前に、数本の鋼の棒をドーム状に制作してもらい、このドーム（重量約100kg）にフローターを数個取り付け海に浮かせ、船で海水浴場内の設置場所まで引っ張って行って、海底に沈めました。また、沈めたドームを固定する作業は、2組のペアで、レギュレーター（背中に空気のタンクを背おって潜るやつ）を使って海に潜り、ハンマーを振りかざして、1基あたり4ヶ所を鉄杭で固定しました。

作業当日は、雨の影響で海が濁っている上、設置の際に、舞う砂などで手元しか視界が確保できず、隣で作業しているダイバーの存在もギリギリまで近寄ってやっと確認できるような状況でしたが、数年前に3基の既存基を設置された経験がある「やったろう de 高島」の福村会長らの指示を受け、無事に作業完了！いい体験をさせていただきました。

そもそもどうやってサンゴたちが育つのか、ざっくり言うと、鋼製ドームにマグネシウム棒を取り付け、海水が反応し微弱電流が発生、鋼の表面にアルカリ成分OH⁻が発生し、海水に溶解しているカルシウムイオンCa²⁺やマグネシウムイオンMg²⁺と反応します。

こうしてできた電着層は、サンゴの骨格とほぼ同じと考えられており、サンゴ幼生の着床や骨格形成に適した環境になるそうです。

今回設置した育成装置は、まだサンゴは付いておらず、電着層の数値を観察して、9月に再度サンゴの取り付けが行われる予定です。

その時は、また参加したいです！

作業に関わられたみなさん、御協力ありがとうございました。

また、貴重な体験を体験させていただいた「やったろう de 高島」の福村会長、小村事務局長ありがとうございました。



≪編集後記≫ いや～、暑いですね！今年も、日本各地で、メタボな体には酷な猛暑になっています。



夜間の室内でも、多くの方が熱中症になっていますので、寝る前にコップ1杯の水を飲んで寝ましょう。また、枕元にも、補給用の水を用意しておきましょう。(K)